

な～に谷っ戸ん田 5年目の35回目 大豆の脱穀、雑木林の下草刈り等 -

と き：平成23年12月17日(土) 9:30～15:30

と ころ：納屋手前のビニールハウス・テツさん納屋・雑木林・堀の内の畑

天 気：晴れ

参加者：石田+ヒデくん、磯、加藤(午前)、霧生、久保、高田夫妻(午前)、高橋、松本洋(午前)
大人10+子ども1 計11名

活 動：

【午前】

・先週、手作業で脱穀してハウスで乾燥させていた大豆。約1時間かけて園主所有の選別機(カンリウトーミ)を通し、小枝や泥などを吹き飛ばして選別する。この時点で、白大豆が17Kg、黒大豆が18Kg。

今後は、大豆の状態をみながらの手作業の選別をしていくことになるが、白黒各3K程度は翌年の種まき用に確保しておくことを忘れないようにしなければならない。

再び大豆をハウスのビニールシートにひろげ網をかけ、もう少し乾燥させておくことにした。

・納屋に置かせていただいていたイモ類。これからくる本格的な寒さにあたって傷まぬよう、日光にあてて乾燥させた。

また、いつまでも芋袋で納屋を占領するわけにはいかないで、次回には、来年の植え付け用だけは残して、皆で分配して片付ける必要がある。(サツマ芋3袋(大,中,小)、里芋1袋、里芋親3袋、えび芋1袋、えび芋親1袋。)

・餅つきに備え、漬物用樽を洗う。

・今年度初めての雑木林の整備。燃料も調達し、刈り払い機の記念すべき始動日でもある。

倒木や小枝を集める係とそれをネコで運ぶ係、チェーンソーで倒木を小さくカットしていく係、刈り払い機で下草を刈っていく係と分担して作業を進める。

付け火等の心配のないよう、運んだものはできるだけ田んぼに集めておくことになった。

【昼食】

各自、お弁当。

な～に谷っ戸ん田の広場は、落ち葉がしきつめられ終わりかけだが紅葉がきれいだった。

子どもの参加が少なかったため、ヒデ君は少し淋しそう。

【午後】

・下草払いを再開。約1時間の作業後、餅つき用の薪をネコと車で納屋の前に運搬して終了とする。

刈り払い機を片付けに谷戸の奥に行くと、紅葉がみごとだった。しばし谷戸の初冬の風景を楽しむ。

・近くで白菜の収穫をしていた方から、寒さ除けの白菜をひもでしばる作業を今の時期にやっておかなければ芽が傷むよ・・・と伺い、堀の内に向かうことにする。昔はもっと寒かったので、白菜はまとめて収穫し納屋等で保管していたが、最近は数回に分けて収穫するようになったそうだ。こうしたお話に暖冬を実感する。

・堀の内の畑の白菜の内、6個くらいは葉がまいてい様子。それらの頭の近くを藁でしばり、大根に軽く土寄せをした。

11/5に種を蒔いたターサイ等は、発芽はしたものの中々大きくなり心配だ。

終了は3時半頃。クワ等を片付けて解散する。

(記録:霧生)